



五感をゆさぶる自然素材と「子どもあそび」の深まり

4月



はらばら

大きい穴に落ち葉をたくさん入れて土の方からジャンプしたりみんな穴に入って葉っぱを投げたりして遊んでいた。「ジャンプしてー、1・2・3!!」と叫びながらジャンプしていた。



植物

保育園の近くに普賢寺をしに行き、花をとり、昆虫を探したりした。「見て、何かいたよ」「見せて、つかまえるから」「…と、たよ!!」みんなに見せていた。

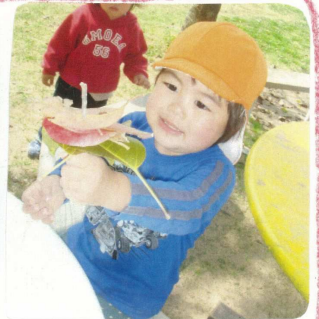


どろんこ

雨上がりの土山でどろんこをして遊んだ。豆貝からどろんこをつけて遊んだり、団子作りに夢中になっている子どもたち。

↓「だんご作れたよ」

↓自分たちで作った団子を木の土に並べている



「たくさん葉っぱが落ちてくるね」「うん、いいこと考えた」

色のきれいな葉っぱや形がいいものを集めてきて机の上に置き、木の棒にさしていく。「だんごみたいだねー」と言っている。



木・石

↑石と石を合わせてこすっている
←長い木を持ってきてゆくりゆくり登っていく。「毛糸いじで登れる…」、「大丈夫?」、「大丈夫!!見てね」木の家をおちゃんが出来て中に入るときは靴を脱いで入っていた。

